

目的 使用油に含まれる酸性成分、塩基性成分の量を測定し、油の酸化劣化状態を調査する

対象 潤滑油

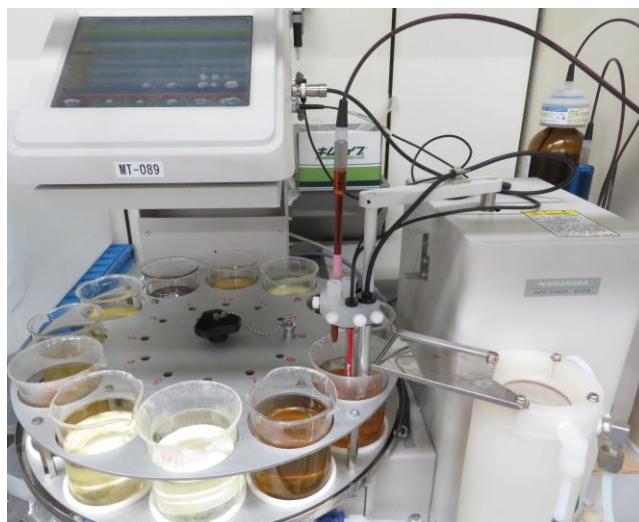
分析項目 中和価試験 電位差滴定法（酸価、塩基価）

試験結果

用語の定義

酸価： 試料1 g中に含まれる酸性成分を中和するのに要する水酸化カリウムのmg 数。

塩基価： 試料1 g中に含まれる塩基性成分を中和するのに要する塩酸又は過塩素酸と当量の水酸化カリウムのmg 数。



試験の概要

酸価、塩基価(塩酸法)：

試料を滴定溶剤に溶かし、ガラス電極と比較電極を用いて、酸価は水酸化カリウムの2-プロパノール溶液、塩基価は塩酸の2-プロパノール溶液で電位差滴定を行い、非水酸性又は非水塩基性緩衝液で得られるメータの読みを終点としています。

塩基価(過塩素酸法)：

試料を滴定溶剤に溶かし、ガラス電極と比較電極を用いて過塩素酸の酢酸溶液で電位差滴定を行い、電位計の読みと、これに対応する液の滴定量との関係を作図し、滴定曲線で得られた変曲点を終点としています。

※試料によっては塩酸法より高い結果が得られることがあります。

